

神中しーぶん

平成26年
6月10日

神原中
不定期08号

負けから学ぶ!!

～那覇地区中学校夏季総合体育大会～

祝優勝!!

〈女子卓球部〉

去る六月九日(月)体育館にて、臨時の全体朝会を持ちました。

夏季大会の表彰をメインとして行われ、生徒達一人一人の頑張りに対し、校長先生からの話もありました。

その中で、一人一人の頑張りに感動した。最後まであきらめず、一生懸命に、冷静に試合を進めていく強い精神力のことに述べています。さらには、応援する生徒も素晴らしかったとのこと。応援によっては時に奇跡を

起こすこともあるとの話でした。

去る六日(金)から開催された夏季大会の卓球競技において、女子団体で見事優勝という快挙を成し遂げました。

五校による予選リーグを突破し、決勝トーナメントでの準決勝、決勝を含め、全六試合を戦い抜いた結果です。卓球は、ほんの一瞬の気の緩みさえ許されない集中力が必要とされる競技です。

本校卓球部において、地区・県で活躍し、九州大会へ参加した先輩方もいます。中には、沖縄県のチャンピオンとなった生徒もいます。輝かしい戦績を持つ本校卓球部の復活です。県大会での活躍に期待しています。

男子の方は、予選リーグを突破したものの、惜しくも決勝リーグ入り四校を決める試合で敗退しました。しかしながら翌日の県大会出場を決める決定戦の初戦を見事勝ち抜き、上位六校へ与えられる出場権を獲得しました。

祝入賞!!

去る6月6日(金)から開催された那覇地区中学校夏季総合体育大会、その他における入賞者は次の通りです。

- ☆第56回那覇地区中学校夏季卓球競技大会卓球
- 女子団体優勝**(メンバー)
平安山法佳③, 新里真由③
渡慶次唯②, 吉田愛香②
金城菜生美②, 高山朝華①
諸見里彩①
- 三位**(女子シングルス)
高山朝華①
- 三位**(男子シングルス)
諸見里安晃③



- ☆第47回那覇地区中学校水泳競技大会
- 一位**(男子200m バタフライ)
盆子原克文③



- ☆第31回NHK杯中学生卓球大会 **三位**
(女子シングルス)
高山 朝華①

☆☆おめでとう☆☆

県大会出場!!

- ・卓球 **男子団体**
個人シングルス
諸見里安晃③
- 女子団体**
個人シングルス
吉田愛香②
金城菜生美②
高山朝華①
諸見里彩①
- ※県大会は、7/21, 22
那覇市民体育館

- ・男子バスケットボール
- ※県大会は、7/21~24
石垣市総合体育館他

- ・水泳 **男子個人200m**
(バタフライ)
盆子原克文
- ※県大会は、7/12, 13. 19
奥武山水泳プール

- ・剣道 **女子団体**
- ※県大会は、7/12, 13
県立武道館

- ・夏季陸上競技大会
- ※県大会は、7/12, 13
沖縄市陸上競技場
県大会へ参加しない生徒で、地区陸上大会へ向けてリーダーとなる生徒

男バス大健闘



これから、さらなる練習を積み、地区大会の結果から学んだ事を生かし、県大会での巻き返しに期待します。

会場校として挑んだ夏季大会。地元開催でのプレッシャーにも負けず、最後まで手に汗握る熱戦を展開しました。

特に、初戦の那覇中戦は、前半は快調にリードを保っていたものの、後半から追い上げられ逆転を許すと、相手にリードを許す場面が多くなる。しかしながら、何度リードされてもあきらめずに食らいつく。そして、相手の二点リードで、残り時間は五秒。自陣のゴール下からボールを繋ぎ、最後の一秒。最後残り一秒で放ったシュートがゴールネットを揺らし、歓喜の同点劇。そのまま延長戦へ突入し、延長前半も同点で、ついに運命の延長後半へ。延長後半でもお互いの気迫あふれるプレーが続き熱戦を展開。最後の最後にシュートを決めリードした神原中が勝利。

二回戦も、前半から神原中ペースで試合は進んでいく。安心して見ていた試合も進むにつれ、相手の追い上げに合い、最後はわずか一点差での勝利。この時点で、ベスト八に入り県大会出場権を獲得する。

翌日行われた三回戦においては、ベスト四の壁が厚く、試合開始直後から相手ペースで試合が展開。相手の早いマンツーマンディフェンスにうまくボールを運ぶことができずに、ズルズルと失点を重ねていき最終相手ペースで進んだ。

勝負は「時の運」とも言われるが、この敗北を通して学ぶことは大きいと思う。一・二回戦では見えてこない、勝ち進むことによって、より高いレベルでの試合をする事によってしか見えてこない大きな課題が見えてきたのではないかと、「負けから学ぶ」謙虚な姿勢で県大会までの練習を積み重ねて「リベンジ」だ。

剣道女子・水泳



女子剣道は、昨年度まで参加できなかった念願の団体出場を果たした。そのチャンスを活かし、県大会出場をゲット。水泳の盆子原さんは、優勝した二〇〇m バタフライの前に、二〇〇m個人メドレーに出場していた。自信を持って挑んだ結果は、惜しくも入賞できず。そのレース後、「負けから何かを学んだのか?」。気持ちを切り替えて見事優勝を飾る。